

## ■ 連載⑤デュッセルドルフ現地のレストラン・ガイド



デュッセルドルフ市内のレストラン・ガイドを連載で、皆様に魅力的なレストランを紹介します。今号は旧市街に位置する「Tante Anna」を取り上げます。



この伝統あるレストランはその昔「ワインハウス アルテツァイト」と呼ばれていました。タンテ・アンナ（＝アンナおばさん）への改称は 20 世紀初頭、当時の人気者の女将（おかみ）でもありエンゲルベルト・オクセンフォルト夫人であったアンナにちなんで新たに名づけられたものです。

建物は 1593 年にイエズス会修道院の礼拝堂として建てられたものです。店内カウンター脇にある千年の歳月を思わせる古びた花崗岩の柱や、奥の部屋へと続く途中にある祭壇の柱、そして香炉やミサの際に着用する上衣などが、礼拝堂であった当時の面影を今に伝えています。

19 世紀初頭の教会財産没収により、この建物は個人の所有となって馬車卸者相手の居酒屋として賑わっていたようです。そして 1820 年頃、オクセンフォルト一家の所有となりました。1974 年からワインハウスレストランが創業され、2004 年に現在オーナー（6 代目）が引き継いだ次第です。現在の店主であるバーバラ曾々祖父が当時ほどこした室内装飾をそのまま現在に至るまで受け継いでいます。

入り口を入ってすぐの二部屋には、古いもので 300 年の年月を経た家具調度品や装飾品が見られます。どっしりとした木製のテーブル、彫刻のほどこされた椅子、鉛の縁取りのある窓、17 世紀初頭スタイルのニュルンベルグ風タイルばり暖炉、金の飾りのついた格子天井、真鍮の飾り皿と蝋燭の灯火が古きよき時代の赴きある雰



囲気を再現しています。また古い大砲と巨大な乗馬靴、鎧の胸当て、そして時を経てすっかり黒ずんでしまった連隊旗などはかつての古い戦いの時代を彷彿とさせることでしょう。ヤン・ヴェレムの間にかかる大きな静物画「アール・コボルド」は 1996 年に入念に修復が施されました。ワインハウス・タンテ・アンナを訪れるお客様にとって忘れがたい印象を残すものの一つになることでしょう。



旬の惣菜をいかした郷土料理と一流の優れたワインとともに伝統的な味わい深い雰囲気をお楽しみ下さい。ジャズディナー、特別料理とワインの試飲等についてはどうぞ遠慮なくお問い合わせ下さい。

場 所： 旧市街、Andreasstr. 2、40213 Düsseldorf 地図は[こちら](#)でご覧下さい。

電話： +49 (0) 211 - 131163 毎日 18 時～営業（日・休日は休み。見本市会期中を除く）

Mail： [info@tanteanna.de](mailto:info@tanteanna.de)

Web： [www.tanteanna.de](http://www.tanteanna.de)